

News Release

2020年5月28日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
N I T E (ナ イ ト)
東 北 支 所

屋内で起こる高齢者の転倒・転落事故を防ぐ ～安全な製品選びのポイントと運動時の注意点～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

東北地方6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)で2010年度から2019年度の10年間にNITE(ナイト)に通知された製品事故情報¹では、高齢者が被害者となった屋内の事故は、44件²ありました。

被害状況は死亡12件(20名)、重傷11件(11名)、軽傷21件(24名)です。事故原因は誤使用や不注意によるものが12件ありました。

表1 屋内で起こる高齢者の事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2010年度	0	1	1	0	1	1	4
2011年度	2	0	4	1	0	0	7
2012年度	0	1	0	1	1	1	4
2013年度	0	1	0	0	0	2	3
2014年度	0	1	2	1	1	5	10
2015年度	1	0	1	1	0	0	3
2016年度	0	0	0	1	0	0	1
2017年度	1	0	2	1	0	0	4
2018年度	0	0	0	1	1	3	5
2019年度	0	1	1	0	0	1	3
合 計	4	5	11	7	4	13	44

表2 屋内で起こる高齢者の事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況	発生県							合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
死亡	3	1	1	3	0	4	12	
重傷	0	1	5	1	2	2	11	
軽傷	1	3	5	3	2	7	21	
拡大被害	0	0	0	0	0	0	0	
製品破損	0	0	0	0	0	0	0	
被害なし	0	0	0	0	0	0	0	
合計	4	5	11	7	4	13	44	

表3 屋内で起こる高齢者の事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分		発生県							合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	1	0	1	
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	1	0	0	1	2	
	C: 経年劣化によるもの	0	0	2	0	0	0	2	
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	1	1	
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0	
	E: 誤使用や不注意によるもの	2	1	2	3	1	3	12	
	F: その他製品に起因しないもの	1	2	4	1	0	1	9	
G1、G2: 原因不明のもの		1	1	0	3	1	5	11	
H: 調査中のもの		0	1	2	0	1	2	6	
合計		4	5	11	7	4	13	44	

- (1)消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含める。
- (2)重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

2. 主な事故事例

2017年8月5日 (秋田県、90歳以上女性、使用期間約9ヶ月、重傷)

事故内容: 家族が昇降機能のある介護ベッドのスイッチを操作したところ、使用者(90歳代)の右腕が当該製品と介護ベッドのマットレスの隙間に挟まり、負傷した。

事故原因: 使用者の家族が使用者の手の位置を確認せずにベッドを操作したことにより、ベッドの動作中に使用者の右腕が当該製品とマットレスの間に挟まり骨折したものと推定される。なお、ベッド本体には、「ベッドを動作させる際は、ベッドの上の方の様子を確認しながら動作させる。」旨、警告表示されている。

2016年3月12日 (青森県、90歳以上女性、使用期間不明、死亡)

事故内容: 使用中の石油ストーブ付近から出火して、住宅を全焼し、家人2人が死亡した。

事故原因: 石油ストーブの内部より出火した痕跡が認められなかったことから、石油ストーブの上方に干していた洗濯物が、ストーブの上に落下して火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には「衣類などの乾燥には使用しない。衣類が落下して火がつき火災の原因になる」旨、記載されている。

2015年2月1日 (福島県、70歳代男性、使用期間不明、軽傷)

事故内容: 使用中の電気こたつから出火して、部屋を半焼し、1人が軽傷を負った。

事故原因: やぐらから外れたヒーターユニットを敷物の上に置いた状態で使用を継続したため、敷物が過熱されて出火したものと推定される。

2014年12月27日 (宮城県、70歳代女性、使用期間約5年、重傷)

事故内容: 踏み台(アルミニウム合金製)を使用中、転倒し、負傷した。

事故原因: 当該製品を使用中に使用者がバランスを崩して転倒し、身体が当該製品にぶつかったことにより、開き止め金具が逆側に折り畳まれたものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

2014年12月25日 (山形県、60歳代男性、使用期間約5年、軽傷)

事故内容: 石油ストーブの給油タンクを引き抜いたところ、口金が外れて灯油がこぼれ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1人が軽傷を負った。

事故原因: 当該製品の給油タンクの口金を、前回給油時に確実に締めずに本体へセットしたため、給油タンクを引き抜いた際に口金が外れ、給油タンク内に残っていた灯油が本体に掛かり、燃焼筒や天板の余熱により出火したものと推定される。なお、取扱説明書には、「給油口口金は、確実に締める。口金を下にして、油漏れがないことを確かめる。口金を斜めに締めたりすると、簡単に口金が外れて、火災の原因になる。」旨、記載されている。

2010年11月10日 (岩手県、80歳代女性、使用期間約2日、軽傷)

事故内容: 使用中の業務用魚焼き器の上にカセットボンベを装着したカセットこんろを置いていたところ、当該製品が破裂する火災が発生し、1人が負傷した。

事故原因: カセットボンベを装着したカセットこんろを、魚焼き器の排気口の上に置いたまま魚焼き器で調理していたため、当該製品が過熱されて内圧が高くなり当該製品が破裂したものと推定される。なお、本体表示には、「容器をストーブなど熱気のある所に置かない」「使用後は器具から外してキャップをして保管する」旨、警告表記されている。

3. 屋内で起こる高齢者の事故の実験映像について

屋内で起こる高齢者の事故の実験映像につきまして、写真及びムービーをご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構 + NITE のロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

数年前、当時 80 歳の母親がいすから落ちてけがをしました。
年を重ねると、つまずいたり、バランスをくずしたり、前に
できたことができなくなったりします。

今は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、家の中で
長～い時間を過ごすことが多くなり、ますます事故発生の
リスクが高まっています。

ご高齢の方ご本人も、また一緒に生活しているご家族の方も、
事故につながるヒヤリハットに注意して過ごしましょう！！



(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

ナイト
独立行政法人製品評価技術基盤機構 (略称:NITE)
東北支所 業務課

担当: 菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、福井(ふくい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

